



みんなで力を合わせることで、気持ちを高めること、 2学期、その価値が実感できるか!?

残暑お見舞い申し上げます

16日間の夏休みが終了しました。終業式の日には短期決戦と言いましたが、みなさんにはどんな夏休みだったでしょうか？体調の管理、生活の管理、家庭学習の管理、それぞれ自分で自分自身を管理する「自律」ができていたなら、それは大きな成果です。

さて、2学期はこのままいけば12月27日までの長丁場になります（感染状況が気になりますが……）。1学期にできなかった行事や活動が一つでも多く、正常に行えることを期待したいですね。

そこで、2学期の最初の行事として縮小版の体育祭が実施されます。今年は特に「密を避ける」ために、種目も個人種目が中心です。一緒に組んだり、固まったりできません。では、大事なことは何か？そう、仲間の応援です（あえて声援とは言いません）。応援も大声を出さず、マスクを外さずなど制約があるでしょう。さて、それではどんな応援をしますか？ぜひ、みんなのアイデアと団結力で、これまでにないスタイルの応援で仲間の気持ちを高めてあげましょう！

その後、体育祭に続いて新人戦や合唱祭が行われる予定です。ここでも新型コロナウイルス感染防止のための縮小や制限が必要です。しかし、それでは何もできない、という考え方ではなく、その中で何ができるか？を考えてください。「できないから諦める」のではなく、「できない中で可能性を探る」ことの方が確実に豊かな生活を送ることになると思います。

一人一人が全力で取り組むことや、互いに高め合って最大限に力を発揮することは、今、求められている「ソーシャルディスタンス」をしっかりとって支障なくできると思います。その可能性を探り続けることで新しいアイデアを生み出す創造力がついてきます。行事や活動を行う上で、自分の思いを「引き算」でなく「足し算」で考えていくことが大切です。

そして、その良さ（価値）を実感することが何よりコロナ禍でできる重要なことではないでしょうか。細心の注意と最善の努力、2学期は皆さんにこのことを期待しています。どのクラスも最高の協力を表現しましょう！



60周年記念「のぼり」のデザイン決定！

《感謝》1学期終業式の日、皆さんが下校した後、地域の方から連絡がありました。

終業式の日、下校途中で古谷小学校の前あたりの横断歩道を渡ろうとした東中の生徒が、左右両方から来た車が止まってくれたことに、それぞれの車に向けて深々とお辞儀をしていってくれた、という内容でした。渡り終えた後に軽く会釈をする程度は誰でも行いますが、それぞれに身体を向けて、礼儀正しくお辞儀をした姿が大変素晴らしく感心した、ということで連絡をくださいました。生活の中で自然に実行できることが素晴らしいですね。また、その連絡をくださった方にも感謝したいと思います。